

機械器具 1 手術台及び治療台
一般医療機器 汎用診療・処置台 13958000

特定保守管理医療機器 移動式眼科用サージカルベッド eyeForce

【警告】

- 装置の電気関連作業を行う場合、主電源を必ず切ること。
- 改造・分解は絶対にしないこと。
- 治療及び手術を行っている最中に装置各部の角度や高さの変更を行わないこと。

【禁忌・禁止】

以下の場所では使用しないこと。

- 爆発の危険のあるところ。
- 引火性の麻酔薬、アルコール、ベンジン、又は類似薬品等、揮発性又は引火性の溶剤のあるところ。
- 放射線治療や核医学治療を実施しているところ。

【形状・構造及び原理等】

1. 外観・構造



①	ヘッドレスト
②	背部
③	座面
④	脚面
⑤	ハンドル
⑥	フット操縦桿
⑦	キャスター（ブレーキ付き）
⑧	バッテリー
⑨	ハンド操作コントローラ

2. 原理

本装置は電動モータにより、背面、座面、脚面の傾斜角度や、昇降を変更することができ、座位から仰臥位までの自由な姿勢調整することができる。

3. 規格

■電気

電源（充電）	入力 100-240V 47/63Hz 出力 24A 1.5A
充電電池	AGM バッテリー 2 個 12V 14 Ah
保護クラス*	クラス II タイプ B

■サイズ

幅・奥行・高さ	台座部分 900mm x 650mm ベッド部分 700mm x 1780 - 1900mm 高さ 640mm - 900mm
重量	163 Kg

■性能

可動範囲（角度）	次の図のとおり
昇降範囲	次の図のとおり
耐荷重	250 Kg



【使用目的又は効果】

診療又は処置のために用いる汎用の診療・処置台。電動によりいくつかの基礎機能（昇降、傾斜等）を備える。診療室又は手術室において用いる。

【使用方法等】

1) 使用環境

温度	10-40℃
相対湿度	30-75%RH
気圧	700-1060hpa

2) 操作方法

操作コントローラ及びフット操縦桿を使用して操作する。

3) 使用方法

- ① 充電器を使用し、バッテリーを充電する。

取扱説明書を必ずご参照ください。

- ② 座位の状態では患者の搬送を行う。
- ③ 任意の位置に設置し、キーパッドよりブレーキを ON にして車輪を固定する。
- ④ 診療又は処置に合わせて、患者の姿勢を調整する。
- ⑤ 診療又は処置が完了したら座位に戻し、搬出する。
- ⑥ 電源を切り、保管する。

詳細は「取扱説明書【操作】」を参照のこと

【使用上の注意】

- ① 本装置の機械的な接続が適切になされており、各部に緩みなどが無いことを確実にすること。[部品落下、接続不良のおそれ、誤動作、機器の故障のおそれ]
- ② 角度や高さなど姿勢を調整するときは患者の手や指などの体の一部が挟まれないよう注意すること。[組織障害のおそれ]
- ③ 背もたれなどを調整のため動かすときに周囲の突起や他の機器などに引っかからないよう十分に間隔があるか事前に確認すること。[組織障害のおそれ]
- ④ 不用意に操作しないよう、使用しない時は電源を切っておくこと。[誤動作、機器の故障のおそれ]
- ⑤ 電源が入っているときは、常に患者に注意すること。[誤動作、機器の故障のおそれ]
- ⑥ ヘッドレストの調整が済んだら、クランプ機構をロックし、ローレットネジをきつく締めること。[部品落下、接続不良のおそれ、誤動作、機器の故障のおそれ]
- ⑦ 不正確な位置決めなどで患者への怪我を防ぐために、調整をする時は、患者の状況に合わせて注意して行うこと。
- ⑧ 診察中/手術中はブレーキをロックすること。[誤動作、機器の故障のおそれ]
- ⑨ 位置決めの際に患者が正しい位置にあることを確実にすること。[手術延長、遅延、中止のおそれ]

【保管方法及び有効期間等】

1) 保管及び輸送時環境

温度	-20℃～50℃
相対湿度	10-90%
気圧	660-1080hPa

2) 保管・輸送時注意

- ① 付属品を取り外してあること
- ② 供給された梱包箱に入れること
- ③ 衝撃や傾斜のないところに置くこと。
- ④ 乾燥した清潔な場所に置くこと。

3) 有効期間

取扱説明書・添付文書推奨の保守・点検を行ない、推奨付属品・消耗品を使用した場合に限り、納入後 7 年（自己認証、当社データによる。）

【取扱い上の注意】

- ① 修理作業前に必ず電源を抜くこと。
- ② 当社のサービス技術者または、当社の訓練を受けた技術者のみが修理を行うことができる。
- ③ 本装置は医科向けに設計されており、それ以外の用途には使用しないこと。
- ④ 付属の充電器やバッテリーは、本装置専用であるため、他の機器には使用しないこと。
- ⑤ 機器の突然の故障により、手術の目的の達成や患者の安全が脅かされることがないよう、予備の対応を検討しておくこと。
- ⑥ 長期保管するときは電池が完全に放電しないよう少なくとも 2～3 ヶ月ごとに充電する必要がある。
- ⑦ 階段や段差を越えるような移動をしないこと。
- ⑧ 機器の近くで携帯電話の使用はしないこと。電磁波障害によ

り機器の誤作動の原因となりえるため。

- ⑨ 電離放射線（例えば、X 線診断、治療放射線）を放射する装置と併用しないこと。
- ⑩ 充電中に使用しないこと。
- ⑪ 破損したケーブルやプラグにゆるみがある場合は使用しないこと。
- ⑫ 湿った手でケーブルには絶対に触れない。
- ⑬ ケーブルを引っ張らないこと。
- ⑭ ケーブルの損傷につながるような屈曲した状態で使用しないこと。
- ⑮ 損傷したバッテリーや充電器は使用しないこと。
- ⑯ 本装置専用の充電器とバッテリー以外使用しないこと。

【保守・点検に係わる事項】

1. 業者による保守点検事項

- ① 本装置を安全に使用するために、弊社認定の技術者による点検を毎年 1 回は受けることを推奨します。
- ② 点検項目：機能、安全、清掃

2. 使用者による保守点検事項

以下の点検項目を施術前に行うこと。

- ① 外装に瑕疵、変形などが無いこと。
- ② 配線等に亀裂、断線が無いこと。
- ③ 機械的な接続が適切になされていること。
- ④ 各部取り付けネジが確実に締められていること。
- ⑤ 各部に緩みなどが無いこと。
- ⑥ 本装置から異音、異臭がしないこと。
- ⑦ 本文書が本装置の使用者が参照できる場所に置いてあること。
- ⑧ ブレーキ機能が適正に働くこと。

3. 日常のお手入れ

- ① 清掃は対象部分により方法が異なるので取扱説明書を参照して適切に行うこと。
- ② クリーニングを行う際は、本体の電源スイッチを切ること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：オガワ精機株式会社

電話番号：03-3200-0234

製造業者：UFSK-INTERNATIONAL OSYS GMBH （ドイツ）

取扱説明書を必ずご参照ください。